

第17回 新潟県ドクターヘリ症例検討・勉強会を (第2回 東部ドクターヘリ) 開催しました

平成29年12月14日(木)15時から、新潟医療人育成センターにおいて、「第17回新潟県ドクターヘリ症例検討・勉強会」を開催しました。

今回の症例検討・勉強会においても、消防機関、搬送受入病院など、21の機関、合計約150名の方にご参加いただきました。

症例検討においては、本院、阿賀町消防本部、燕・弥彦総合事務組合消防本部、村上市消防本部、三条市消防本部、佐渡市消防本部、新発田地域広域事務組合消防本部から症例のご発表をいただきました。

ドクターヘリを要請する側の消防機関から、様々な角度で症例に切り込むご発表をいただくことができ、各症例の発表後には全体で討議を行い、意見交換が行われました。

ドクターヘリの効果が十全に発揮されるためには、消防本部・基地病院・受入病院を初めとした関係各機関の緊密な連携が不可欠です。その意味において、関係各機関が一堂に会し、症例の発表と検討を行うことのできた今回のドクターヘリ症例検討・勉強会も、ドクターヘリ運航をますます円滑に進めていく上で、非常に有意義なものであり、今後も定期的に症例検討・勉強会を開催して参ります。

次頁より、当日の次第と配付資料(抜粋、PDF化に際してレイアウト等を一部改変の場合あり)を掲示いたしますのでご覧ください。

平成30年3月9日
新潟県東部ドクターヘリ運航事務局
(新潟大学医歯学総合病院内)



Doctor-Heli

第17回新潟県ドクターヘリ症例検討・勉強会 (第2回東部ドクターヘリ)

日時：平成29年12月14日(木) 15時

場所：新潟医療人育成センター・4階ホール

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 活動実績報告

①平成29年6月1日～10月31日 活動報告

(2) 症例報告及び検討

- ①新潟大学医歯学総合病院 (出動 No.2003)
- ②阿賀町消防本部 (出動 No.2030)
- ③燕・弥彦総合事務組合消防本部 (出動 No.2033)
- ④村上市消防本部 (出動 No.2149)
- ⑤三条市消防本部 (出動 No.2244)
- ⑥佐渡市消防本部 (出動 No.2278)
- ⑦新発田地域広域事務組合消防本部 (出動 No.2302)

(3) 基地病院からの連絡事項

- ①重複要請事案・多数傷病者事案の集計(案)について
- ②今後の東部ドクターヘリ症例検討・勉強会の日程について
- ③多数傷病者事案におけるドクターヘリ待機延長について

(4) その他

3. 閉 会

【配付資料】

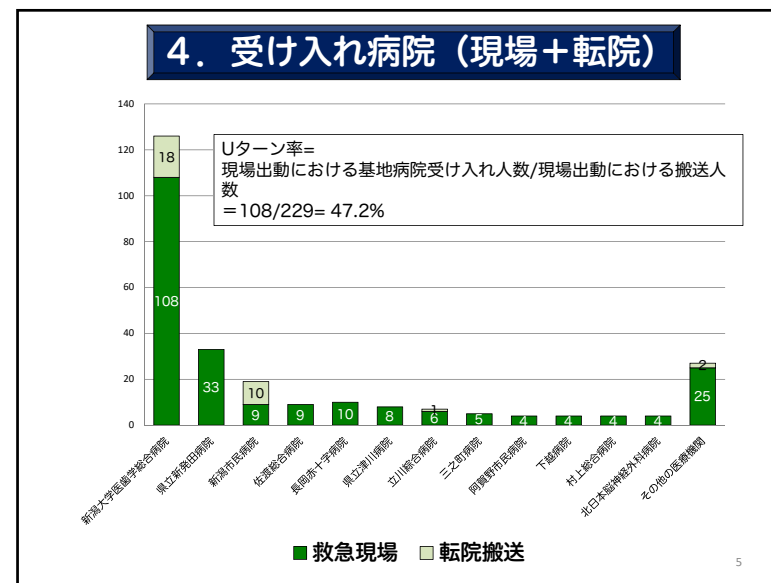
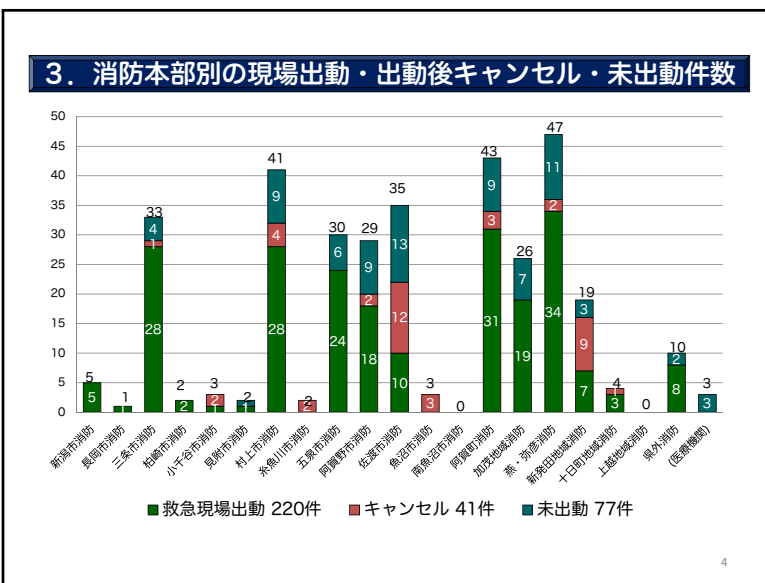
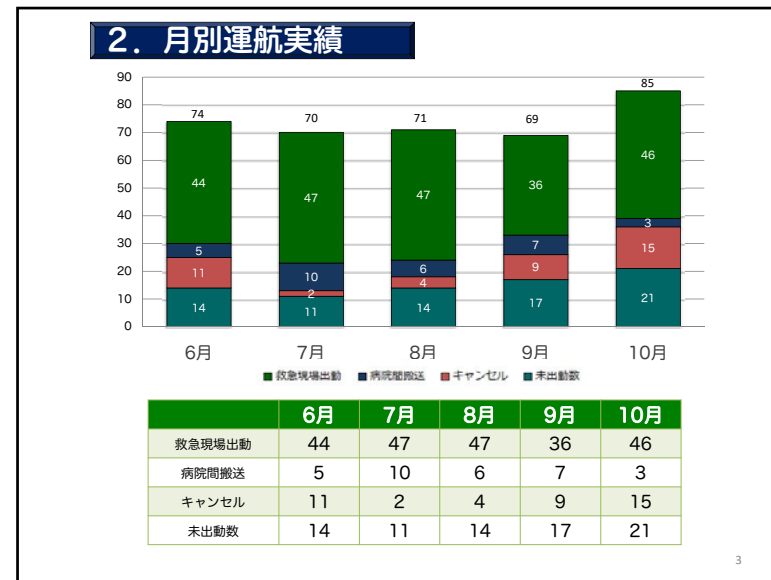
◆資料1…新潟(東部)ドクターヘリ運航実績 (平成29年6月1日～10月31日)

◆資料2…新潟(東部)ドクターヘリ出動記録 (平成29年6月1日～11月15日)

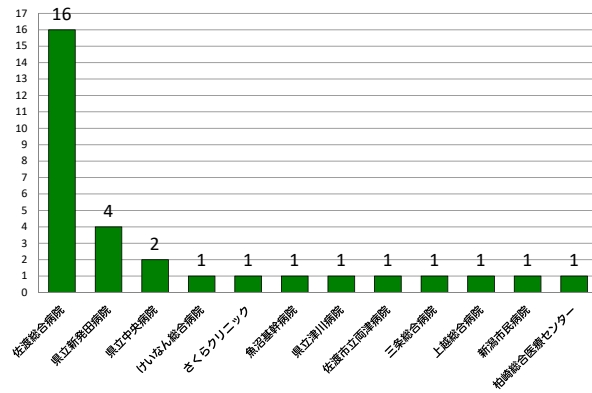
(※資料2はアップロードいたしません)

資料 1 平成29年6月1日～10月31日 ドクターヘリ運航実績		
1. 運航実績概要		
総日数	153日	前年度 6月1日～9月30日
運航不可日数 (0.1日単位) (※)	8.8日	11.1日
運航不可率 (不可日数/総日数)	5.8%	9.1%
要請件数 (件/日)	369件 (2.4件/日)	231件
出動件数 (件/日)	292件 (1.9件/日)	179件
応需率 (出動件数/要請件数)	79.1%	77.5%
出動内訳 (Σ292件)	現場出動	220件(75.3%)
	転院搬送	31件(10.6%)
	出動後キャンセル	41件(14.0%)
未出動件数	77件	52件

(※) 1日ごとの要請受付時間の内、天候不良等で出動できなかった時間を0.1日単位で算出し、その数値を1ヶ月分合算したもの

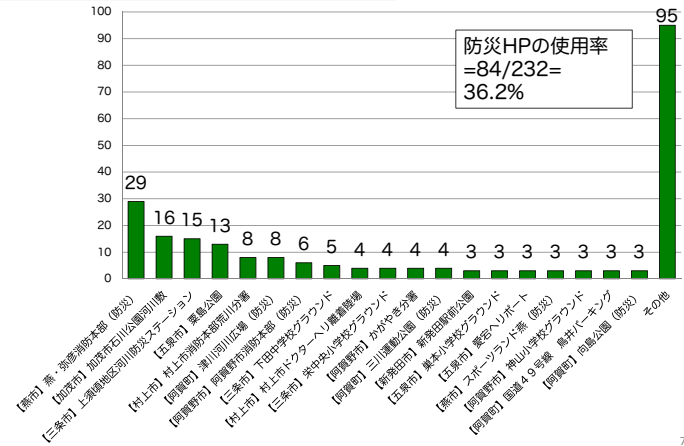


5. 転院搬送（搬送元）



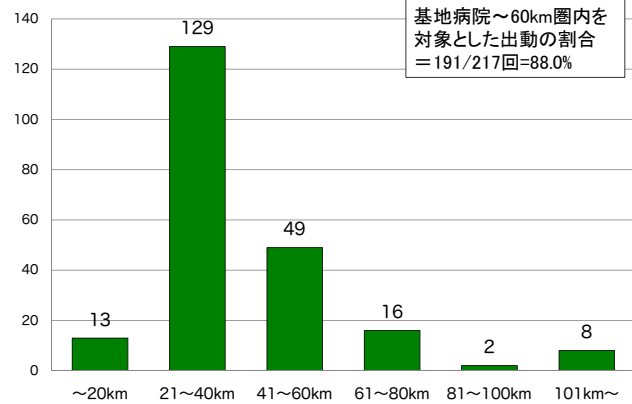
6

6. ランデブーポイント



7

7. 現場出動時のランデブーポイント（距離別使用回数）



8

全県現場出動の集計（すべての連携を含む） （東部DH+西部DH+福島DH+山形DH）

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	応需率
		要請	48	47	65	56	56	53	62		
東部DH	出動	43	47	61	52	52	46	58	46	405	
西部DH	要請	27	33	17	45	30	47	31	25	255	89.8%
	出動	26	30	15	37	28	41	28	24	229	
山形DH	要請	0	0	0	0	1	0	4	0	5	80.0%
	出動	0	0	0	0	1	0	3	0	4	
福島DH	要請	1	0	1	0	0	1	3	2	8	87.5%
	出動	1	0	1	0	0	1	2	2	7	

- A. 現場出動(県内連携+広域連携) ⇒ 要請691件, 出動634件, 応需率91.8%
- B. A+転院搬送 ⇒ 要請765件, 出動704件, 応需率92.0%

$(765/8) \times 12 = 1147.5/\text{年}$

ドクターヘリ2機運用県の特徴

運用県	基地病院所在地	基地病院間距離(km)	重複50km圏内		運航会社	使用機体
			人口	65歳以上人口		
青森県	青森市 八戸市	71.3	117,048	31,115	中日本航空 中日本航空	EC135 EC135
新潟県	新潟市 長岡市	54.1	762,250	193,541	東邦航空 静岡エアコミュニタ	BK117 AW109SP
千葉県	印西市 木更津市	52.9	4,163,392	841,165	朝日航洋 朝日航洋	MD902 MD902
長野県	松本市 佐久市	43.7	1,156,989	291,614	中日本航空 中日本航空	EC135 EC135
静岡県	浜松市 伊豆の国市	116.8	0	0	中日本航空 セントラル航空	BELL429 BK117
兵庫県	豊岡市 加古川市	83	51,294	14,671	ヒラタ学園 ヒラタ学園	EC135 EC135
鹿児島県	鹿児島市 大島	374.5	0	0	鹿児島国際航空 鹿児島国際航空	AW109SP AW109SP

異なる運航会社が異なる機体を使用するのは静岡県と新潟県
基地病院間の距離、重複50km圏内の居住者数は長野県に類似、連携の可能性大

他DH連携基準

基準	判断する者
重複要請について、他ドクターヘリの方が迅速に対応できると判断した場合	運航管理担当者 (CS) (直ちに)
消防機関から、2名以上(5名未満)の傷病者対応を要請された場合	搭乗医師 基地病院MC医師
消防機関から、5名以上の傷病者対応を要請された場合	運航管理担当者 (CS) (直ちに)
基地病院が連携の必要を認めた場合	搭乗医師 基地病院MC医師 新潟県DH運航マニュアル

他ドクターヘリと連携する基準は、次の通りとする
なお連携は、県内のドクターヘリを優先する

基地病院間の連携集計

基地病院	連携理由	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	応需率	
			要請	要請	要請	要請	要請	要請	要請	要請			要請
新潟大学病院 東部DH (第2要請)	他事案対応中	要請	9	9	7	6	9	8	10	3	61	86.9%	
		出動	7	8	6	5	8	6	10	3	53		
	多数傷病者事案	要請	1	1	2	0	2	0	2	0	8		100.0%
		出動	1	1	2	0	2	0	2	0	8		
	上記以外	要請	2	1	2	1	1	3	1	2	13		38.5%
		出動	0	0	1	0	0	1	1	2	5		
長岡赤十字病院 西部DH (第2要請)	他事案対応中	要請	2	3	1	0	2	3	2	0	13	84.6%	
		出動	2	2	0	0	2	3	2	0	11		
	多数傷病者事案	要請	0	2	0	1	3	0	2	1	9	100.0%	
		出動	0	2	0	1	3	0	2	1	9		
	上記以外	要請	0	0	0	0	0	2	1	0	3	100.0%	
		出動	0	0	0	0	0	2	1	0	3		

➡

合計107件
他事案対応・多数傷病者事案91件

参考
長野DH実績(H28年度)
重複要請対応 58件
多数傷病者事案 2件